

[1231/4Z-020-001]

Ver.20

4.内分泌学的検査 >> 4Z.その他の内分泌学的検査>>4Z020 活性型レニン(PRC)

活性型レニン(PRC)

active renin concentration

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1231

001

活性型レニン(PRC)

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ビオチンを投与・摂取している患者(5mg/日以上)の場合は、投与後少なくとも8時間以上経過してから採血を実施してください。

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト	
注	80 外
<input checked="" type="checkbox"/> 冷	<input type="checkbox"/>
レニンリョウ.	
	
血液	*_*_*_*_*_-91001
<input type="text" value="中検外2"/>	**_*_*_*_*_*_*_*_*
P5 <input type="text" value="5ml"/>	

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1231/4Z-020-001]

Ver.20

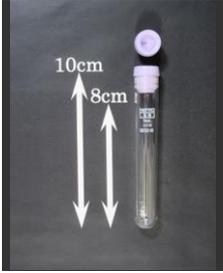
4.内分泌学的検査 >> 4Z.その他の内分泌学的検査>>4Z020 活性型レニン(PRC)

活性型レニン(PRC)

active renin concentration

連絡先 3764

01	P5	EDTA-2Na(薄紫)	
採取材料	血液	採取量	5 mL
冷却遠心		冷却遠心	
測定材料	血漿	測定必要量	0.5 mL



採取容器について

検体採取について

早期安静状態で採血.
ヘパリン加血は不可.

採取後検体の取扱い

検体搬送について

氷冷搬送

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血漿 (冷却遠心)	保存条件1	凍結					

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
				不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ)

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

[1231/4Z-020-001]

Ver.20

4.内分泌学的検査 >> 4Z.その他の内分泌学的検査>>4Z020 活性型レニン(PRC)

活性型レニン(PRC)

active renin concentration

連絡先 3764

検査機器	
検査所要日数	2～3日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)

生物学的基準範囲

	男性	女性	単位
00 活性型レニン(PRC)	2.21 - 39.49	2.21 - 39.49	pg/mL

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

 レニンは分子量約3.7万kDaの蛋白分解酵素である。腎の傍糸球体装置で産生され、アンジオテンシノーゲン（レニン基質）に作用して10個のアミノ酸で構成されるアンジオテンシンⅠを生成する。これにアンジオテンシンⅠ転換酵素（ACE）が作用して昇圧作用などの強い生理活性をもつ、8個のアミノ酸から成るアンジオテンシンⅡが産生される。

 レニン活性は、レニン量を把握するのにもっとも一般的なものであるが、血漿中に内在するレニンとレニン基質を一定時間反応させて産生するアンジオテンシンⅠを測定するため、レニン基質の増減の影響を受ける。

 それに対して、レニン濃度は活性型レニンを認識する抗体により直接的に定量するもので、レニン基質の影響を受けないので正確にレニン分泌動態を反映する。

異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態
 腎血管性高血圧, 褐色細胞腫, レニン産生腫瘍, BArterter症候群, 21-ヒドロキシラーゼ欠損症
低値を示す病態
 原発性アルドステロン症, 17 α -ヒドロキシラーゼ欠損症, 11 β -ヒ

[1231/4Z-020-001]

Ver.20

4.内分泌学的検査 >> 4Z.その他の内分泌学的検査>>4Z020 活性型レニン(PRC)

活性型レニン(PRC)

active renin concentration

連絡先 3764

ドロキシラーゼ欠損症

参考文献

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

分析物	4Z020	活性型レニン(PRC)
識別	0000	
材料	022	血漿
測定法	052	化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2011/12/20	2011/12/16～	採血容器変更
3	2014/03/28	2014/04/01～	委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス)
4	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数変更
5	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
6	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[O]⇒[]
7	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
8	2019/04/30	2019/04/01～	外注業者変更([BML]⇒[LSIM])
9	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
10	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
11	2020/07/16	2020/07/16～	オーダーボタン名称変更
12	2020/10/22	2020/10/22～	ビオチン干渉項目として指定

[1231/4Z-020-001]

Ver.20

4.内分泌学的検査 >> 4Z.その他の内分泌学的検査>>4Z020 活性型レニン(PRC)

活性型レニン(PRC)

active renin concentration

連絡先 3764

13	2021/05/10	2021/04/01～	検査方法・基準値変更
14	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
15	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
16	2022/06/13	2022/02/01～	検査試薬・基準値変更, PAC/PRA・PAC/PRCの計算を開始
17	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
18	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
19	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
20	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定